

令和2年産

気仙沼・南三陸 稲作情報 第4号

令和2年6月12日発行

宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター

TEL 0226-25-8069 FAX 0226-22-1606

今後の管理のポイント

- ・水深3cm程度の浅水で管理し、分けつの発生を促しましょう。
- ・雑草の発生が多い場合は、中・後期剤による除草を行いましょう。
- ・補植用残苗は、いもち病の発生源となるので、早急に処分しましょう。

1 気象の概況

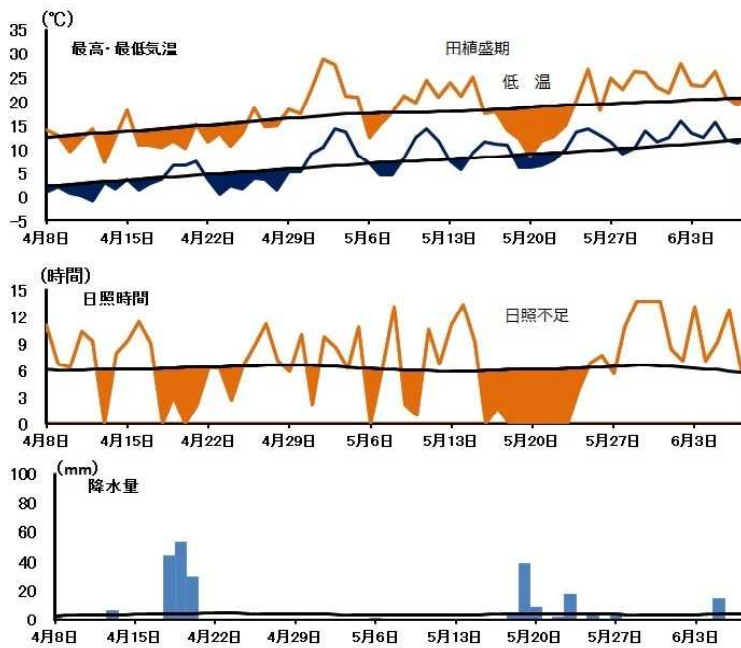


表1 気象経過 (気仙沼アメダス)

	平均気温(°C)		日照時間(h)		降水量(mm)	
	本年値	平年差	本年値	平年比	本年値	平年比
4月 中旬	7.3	-1.4	60.5	99%	133.5	320%
4月 下旬	9.4	-1.2	67.3	103%	0	0%
5月 月上旬	14.8	2.4	60.2	94%	1.5	4%
5月 月中旬	14	0.9	52.7	91%	53	130%
5月 月下旬	15.7	1.2	76	109%	29	64%
6月 月上旬	18.5	2.5	98.8	161%	14.5	37%

- ・5月の月平均気温はかなり高い (田植盛期後の5月20日前後は低温)
- ・5月の月降水量は概ね平年並から少ないが、一部でかなり多い
- ・5月の月間日照時間は概ね平年並
- ・6月上旬の平均気温はかなり高い
- ・6月上旬の降水量は概ねかなり少ない
- ・6月上旬の日照時間はかなり多い

図1 気象経過図 (気仙沼アメダス: 4月8日~6月9日)

2 水稻生育調査ほの生育概況

表2 水稻生育調査結果 (6月10日調査)

品 種		田植日	栽植密度 (株/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
ひとめぼれ 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/14	20.4	27.0	342.7	6.5	38.0
	前年比・差	±0	104%	102%	104%	-0.9	-2.3
	平年比・差	±0	107%	108%	151%	-0.2	+1.5
ひとめぼれ 南三陸町 (志津川)	本 年	5/12	18.6	29.2	264.1	6.7	41.6
	前年比・差	+6	104%	102%	109%	-0.7	-0.8
	平年比・差						
県平均値	本 年			27.7	210	6.9	39.1
	平年比・差			97%	89%	-0.1	+0.6

注1) 平年値は平成27年から令和元年までの5か年の平均値。

注2) 志津川ひとめぼれは平成30年度から調査開始のため平年値はなし。

注3) 県平均値は、県内31地点の生育調査ほ(品種:ひとめぼれ, ササニシキ)の平均値。

- ・県内の生育調査ほにおいては、5月中旬の低温の影響で、生育は平年・前年に比べやや遅れています。6月に入ってから気温が高い日が続いたことにより回復傾向にあります。
- ・管内の生育調査ほにおいては、本吉ひとめぼれ、志津川ひとめぼれともに、葉数は前年より少ないですが、莖数は前年並からやや多くなっています。

3 今後の管理の留意点

【水管理】

- ・水深3cm程度の浅水管理で水温と地温を上昇させ、分けつ発生を促しましょう。
- ・低温や強風が予想される場合には5～6cm程度の深水としましょう。

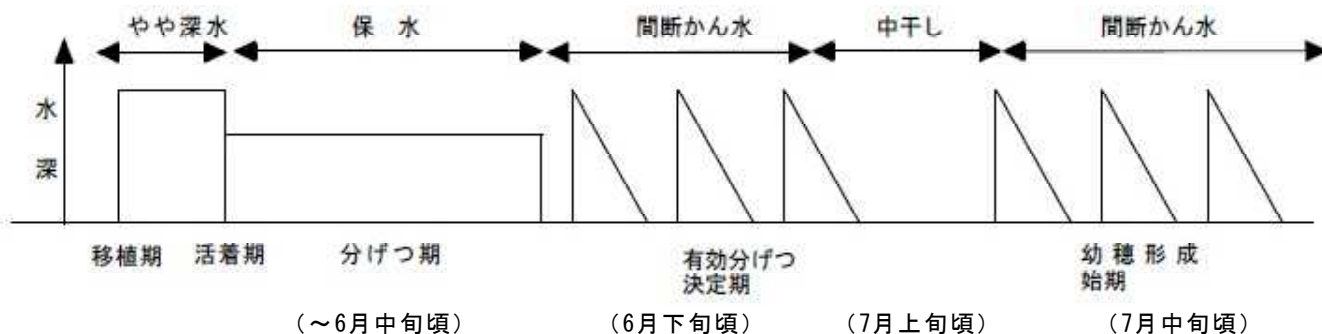


図2 水田水管理体系

【ガス発生軽減】

- ・生わらや牛ふん堆肥等の有機物を多用している水田では、気温の上昇とともに有機物の分解が盛んになり、稲に有害な硫化水素等のガスが発生しやすくなります。中耕や一時的に落水するなど土壌中に酸素を供給し、根の障害を防ぎましょう。

【中干し】

- ・中干しは、根の活力の向上、無効分けつの発生抑制、作土層の硬化促進などの効果があります。有効莖数（表3）を確保したら、早めの実施しましょう。
- ・中干しは、「田面に小さな亀裂が入り、軽く足跡がつく」程度とします。

表3 品種別有効莖確保期の目安

（県栽培ごよみより）

品種名	時期	㎡当たり 莖数（本）	田植時の設定株数	
			50株/坪(15.2株/㎡) の場合 1株当たり本数	60株/坪(18.2株/㎡) の場合 1株当たり本数
ひとめぼれ	6月20日頃	310～360	20～24	17～20
ササニシキ	6月25日頃	460～500	30～33	25～28
まなむすめ	6月20日頃	460～500	30～33	25～28
みやこがねもち	6月30日頃	380～430	25～28	21～24

【雑草防除】

- ・初中期一発剤を散布したほ場でも残草があれば、雑草の種類や葉齢、稲の葉齢を確認し、中・後期剤等で適切に防除しましょう。
- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草は、稲の出穂前にカメムシ類を水田に呼び寄せます。イヌホタルイやシズイにもアカスジカスミカメが寄生・産卵しますので、雑草対策を徹底しましょう。

【病害虫防除】

①いもち病

- ・補植用の残苗は、本田でのいもち病の発生源となります。まだ、残苗がほ場にある場合は、早急に処分しましょう。
- ・箱施用剤による予防防除を行っていない場合は、水面施用剤を6月20日頃に散布しましょう。
- ・箱施用剤等による予防防除を実施した場合でも、発病が見られたときは、速やかに茎葉散布剤で防除してください。
- ・葉いもちは、直接収量や品質に影響を及ぼす穂いもちの伝染源となります。病徴が進展してからの防除では十分な効果が期待できないため、水田をこまめに見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。

②イネドロオウムシ

- ・卵塊密度が100株当たり80個になっている水田では、幼虫ふ化盛期に幼虫を対象とした水面施用剤や茎葉散布剤による防除を行ってください。
- ・6月の気象が曇雨天で経過すると成虫の産卵期間が長引き、幼虫の加害期間も長くなります。今後の気象経過に注意し、発生が長引く場合は追加防除を実施しましょう。
- ・殺虫剤を育苗箱処理した水田でイネドロオウムシの発生が多い場合は、薬剤抵抗性が発達している可能性がありますので、普及センター等にご相談ください。

○「だて正夢」の栽培管理

表4 だて正夢現地栽培技術普及展示の生育調査結果（6月10日調査）

品 種 地区名		田植日	栽植密度 (株/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色値 (GM)
だて正夢 気仙沼市 (本吉町)	本 年	5/13	20.8	30.8	143.5	5.8	39.9
	前年比・差	±0	107%	101%	56%	-0.6	-1.1
だて正夢 県平均値	本 年			31.2	176	6.5	39.6
	前年比・差			91%	61%	-0.8	-2.5

注1) だて正夢は平成29年から調査開始のため、平年値はなし

注2) 県平均値は、県内9普及センター+古川農業試験場の平均値

「だて正夢」は「ひとめぼれ」よりも茎数の増加が極めて緩やかです。茎数を確保するため、活着は水深3cm程度の浅水で管理し、分げつ発生を促しましょう。

目標穂数350~450本/㎡

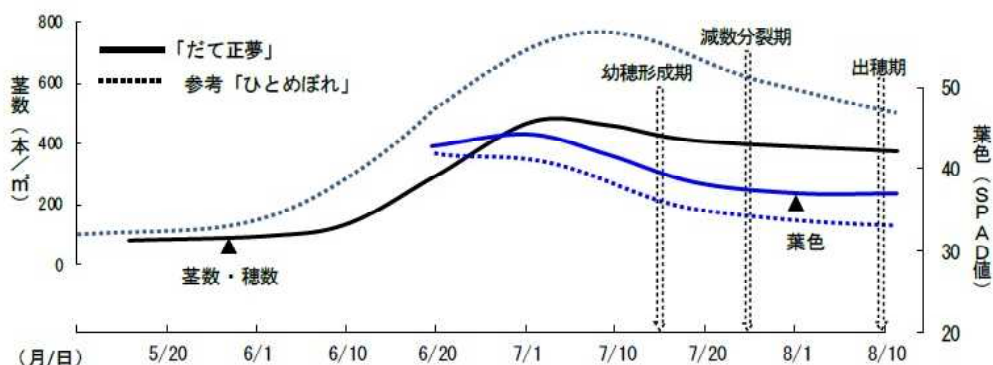


図3 「だて正夢」生育のイメージ

注) 平成28~30年栽培試験にて適正な穂数・収量・品質を得た試験区の生育をもとに作図

1か月の天候の見通し 東北地方（6月13日～7月12日）

（6月11日 仙台管区气象台発表）

予報のポイント

- 1週目は気温がかなり高くなりますが、2週目は、東北太平洋側で気温がかなり低くなり、気温の変動が大きいです。
- 東北日本海側では、前線や湿った空気の影響を受けにくい時期があり、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

・・・・・・・・春の農作業安全確認運動実施中（4月1日～6月30日）・・・・・・・・
重点推進テーマ 「見直そう！農業機械作業の安全対策」

・・・・・・・・農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）・・・・・・・・

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターのホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchiF/vtll001.html>>